

2010年度

科目名	社会学			
担当教員	山口 暁			
配当	教育4		コード	24540
開期	通年	講時	火曜日4限	単位数 4
授業テーマ	「社会学的なもの見方、考え方」と「社会と人間」の関係について理解すること			
目的と概要	一般教養として学ぶ人にも、社会福祉を目指す人にも必要な基礎教養として「社会の意味、その中で現実には生きている個人(=自己)、家族、これらを取り囲む地域社会の意味と役割の相互関連性、更には現代社会特有の社会問題」について、基本的な概念と内容の理解。			
成績評価法	授業への参加度10% 時間内レポートの評価10% 課題レポート20% 期末テスト60%を含む総合評価			
テキスト	使用しない			
参考書	新・社会福祉養成講座「社会学」 「バーガーの社会学」 「につぼん部落」			
	中央法規 バーガー&バーガー 学研 きだみのる 岩波新書			
履修に当たっての注意・助言	資料として、新聞の記事などを使用します。履修者も普段から新聞・テレビなどのニュースに注意する週間を付けてください。			
講義計画				
(前期)		(後期)		
1. 現代社会の特質 2. 現代社会と個人の位置づけ 3. 社会的存在としての人間 4. パーソナリティと社会化 (パーソナリティの捉え方—社会的に) 5. パーソナリティに関連する諸要因について (特に文化・社会・経験・集団に) について 6. 自己の起源と社会化 (養育されるということ) 7. クーリーとミードの「自己」概念 8. 家族の定義 9. 歴史の中の家族 10. 構造と形態 11. 家族の定義 12. 現代家族の変容 13. 家族と地域社会 14. 社会保障・社会福祉と家族 15. 精神障害者と家族		16. 地域社会、都市と農村 17. 都市化、過疎化の問題と地域社会 18. 地域社会の社会集団と組織 19. 地域社会と福祉 (ネットワークとソーシャルサポート) 20. 精神障害者と地域問題 21. 社会構造 (人口と社会構成) 22. 社会階級と社会構成 23. 生活の質とライフスタイル (豊かさと生活の質) 24. 組織と官僚制 25. ジェンダー 26. 社会変動と変動要因 27. 現代社会と社会変動 28. 情報化と国際化 29. 現代社会における社会問題 (1) 30. 現代社会における社会問題 (2)		
以上は一応の目安です。実際の時間数に応じて前後関連項目を関係づけて講義することもあります。				